

2012年5月15日
イオンリテール株式会社
イオン株式会社

イオン浦和美園店「イオンネットスーパー」配送車として 日産の電気自動車「e-NV200 (テストカー)」を実験導入 更なる持続可能な社会の実現に貢献してまいります

イオンは、日産自動車株式会社と協働し、5月15日(火)より約1ヶ月の間、イオン浦和美園店における「イオンネットスーパー」の配送車両として、電気自動車「e-NV200」(テストカー)を使った実証運行を実施してまいります。

本実証運行の目的は、イオンネットスーパーの環境でのモニタリングテストを行うことで、食品などの宅配をはじめとする拠点から近隣地域への配送に関する実用性、効率性、必要装備等についてテストし、小売業の立場から電気自動車(EV)の実用化に向けた車両の性能向上に寄与することです。

イオン浦和美園店のあるさいたま市は、総合特別区域法に基づく「次世代自動車・スマートエネルギー特区」であり、EVや蓄電池を活用して効率的に使用するスマートホームの開発対象地区にあたります。イオンは継続的なエコライフをめざすこの考え方に賛同し、地域の交流地点としてイオン浦和美園店で実証実験を行うことといたしました。

実証運行車両を提供していただく日産自動車株式会社は、EVの普及による持続可能な移動環境の実現を推進しております。一方イオンは、お客さまへの安全・安心な店舗・商品・サービスの提供を通じて、豊かな暮らしと地球環境保全の両立をめざしており、両社の思いが一致したことで両社協働による実証運行が実現いたしました。

イオンは、2008年3月に発表した「イオン温暖化防止宣言」におきまして、2012年度までの5年間でCO2排出総量を185万トン削減するという目標を掲げております。その取り組みといたしまして、環境負荷の少ない店舗開発や、環境に配慮した商品の開発、お客さまとともに進む植樹活動などを進めた結果、1年前倒しで目標を達成することができました。

EVの普及促進におきましても、当社は全国のショッピングセンター「イオンモール」や総合スーパー「イオン」など、グループの商業施設25拠点に充電ステーションを配備するほか、社用車としての利用も積極的に推進しております。

イオンは、今後も店舗、商品、お客さまの観点から事業活動を通じて新しいサービスの創出に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

「イオンのネットスーパー」実証運行車両 日産「e-NV200（テストカー）」

